

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	草津市における公共下水道事業の推進											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	草津市											
計画の目標	下水道整備を行い、持続可能で安定したライフラインとしての下水道サービスの提供が可能な環境を整える。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,637	A	1,637	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道処理人口普及率を95.6%(H28当初)から99.6%(H32末)に増加。			
	下水道処理人口普及率を95.6%(H28当初)から99.6%(H32末)に増加。	96%	96%	99%
	下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
現況値・目標値の詳細：H28当初)95.6% H30末)95.7% H32末)99.6%														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(汚水)	新設	湖南中部処理区関連 汚水管の整備	汚水管 200~800 L=3,900m	草津市						1,381	-	
	A07-002	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(汚水)	新設	新市街地開発事業関連公共下水道事業(南草津ブリムタウン区画整理事業)	汚水管 100~200 L=5,500m	草津市						133	-	
	A07-003	下水道	一般	草津市	直接	草津市	管渠(汚水)	新設	湖南中部処理区関連 汚水管の整備	汚水管 150~200 L=760m	草津市						123	-	
												小計						1,637	
											合計							1,637	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 草津市上下水道事業運営委員会にて、事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年11月9日
	公表の方法 草津市のホームページに掲載する
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 安定したライフラインのサービスエリアが拡大した。 公衆衛生の向上と河川や琵琶湖等の公共用水域の水質保全に寄与できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水地区のすべての地区を公共下水道へ接続したことで、処理施設の改築更新費用や維持管理費等の支出を削減でき、経営の効率化に寄与した。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> 将来にわたり継続して市民が下水道を快適に利用できるよう、水道アセットマネジメント計画を基に下水道施設を計画的かつ効果的に管理する。 また、継続計画となる「草津市域における快適で良好な環境の実現」において汚水管の整備を進めていく。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終 目標値	99%	計画に位置づけた事業は予定通り実施できた。
	最終 実績値	99%	